



浅川流域協議会
平成27年4月17日

しあわせ  **信州**

本日の説明内容

- 1. 増設する浅川第三排水機場（仮称）の工事実施に関する説明
- 2. 浅川治水対策の現況報告

1. 増設する第三排水機場の工事実施に関する説明

H25.05.14 第20回浅川流域協議会
浅川総合内水対策計画(案)の説明

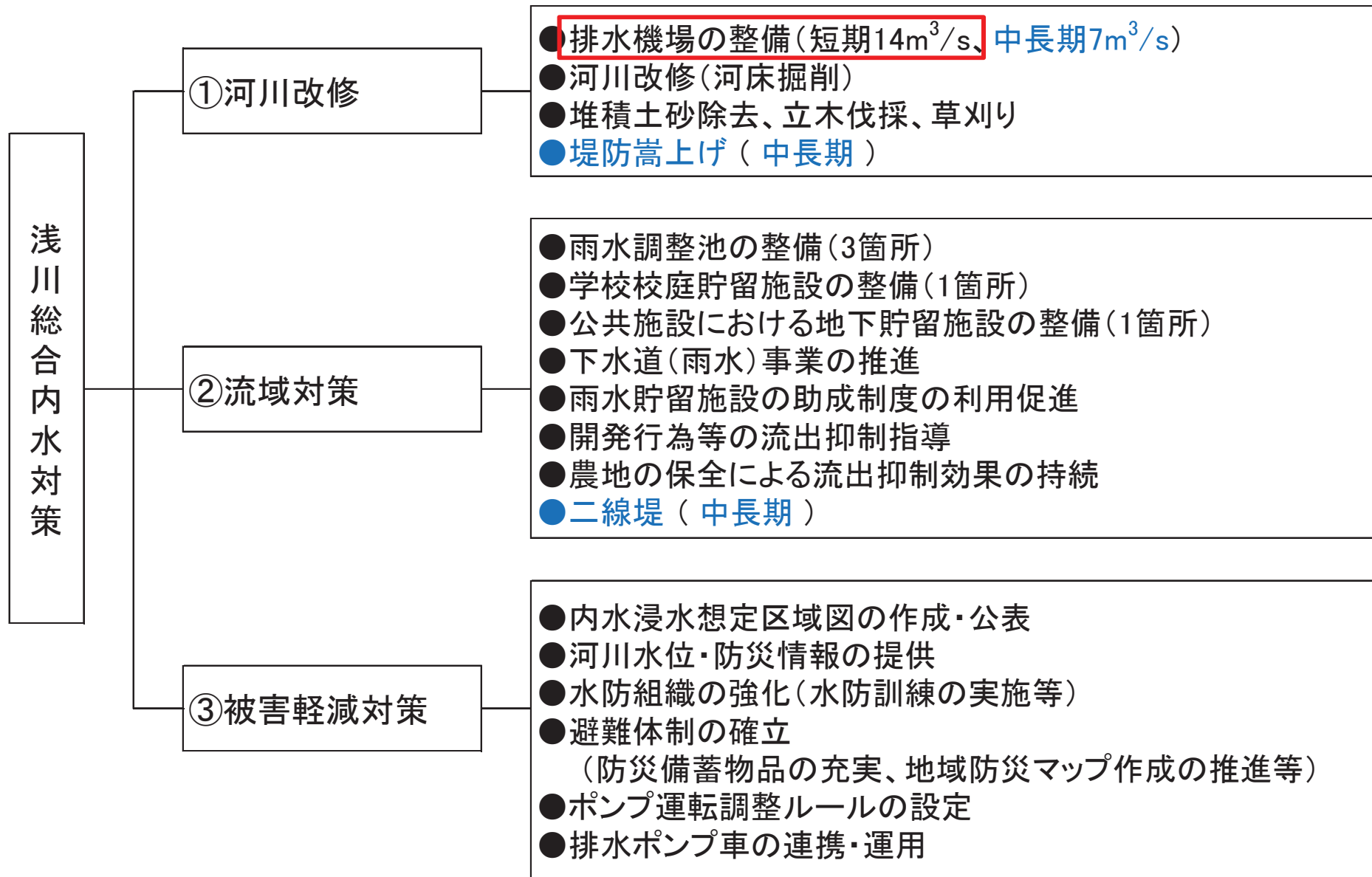
H25.05.31 第3回浅川総合内水対策協議会
浅川総合内水対策計画策定

H25年度 ■国土交通省へ内水対策の新規事業を要望
■排水機場の用地確保にむけた地権者交渉
■排水機場詳細設計

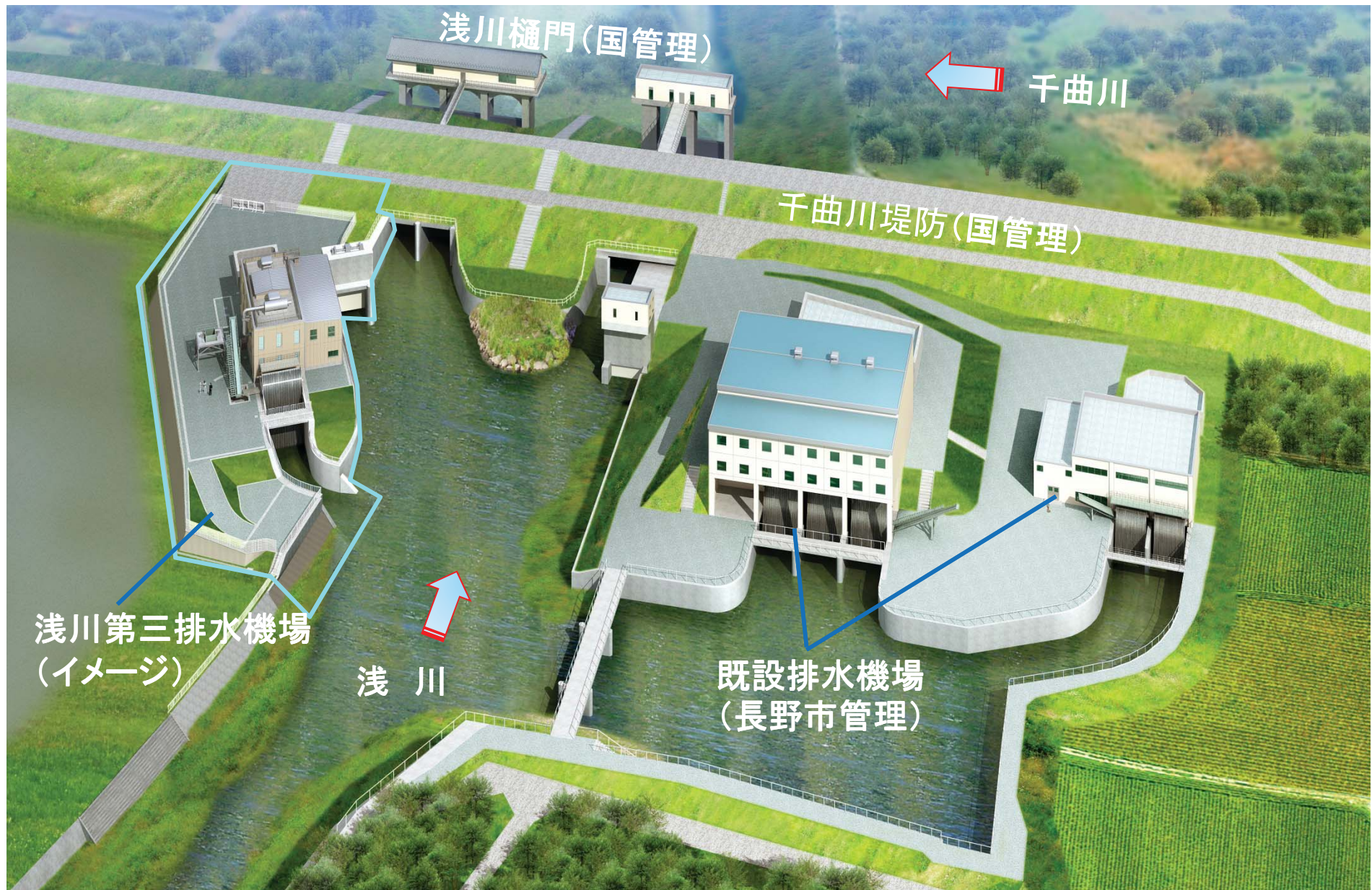
H26年度 ■内水対策の新規事業認可
■排水機場の用地・補償契約
■農業用排水路の付替工事着手

H27年度 ■排水機場土木本体工事着手
■ポンプ設備工事着手予定

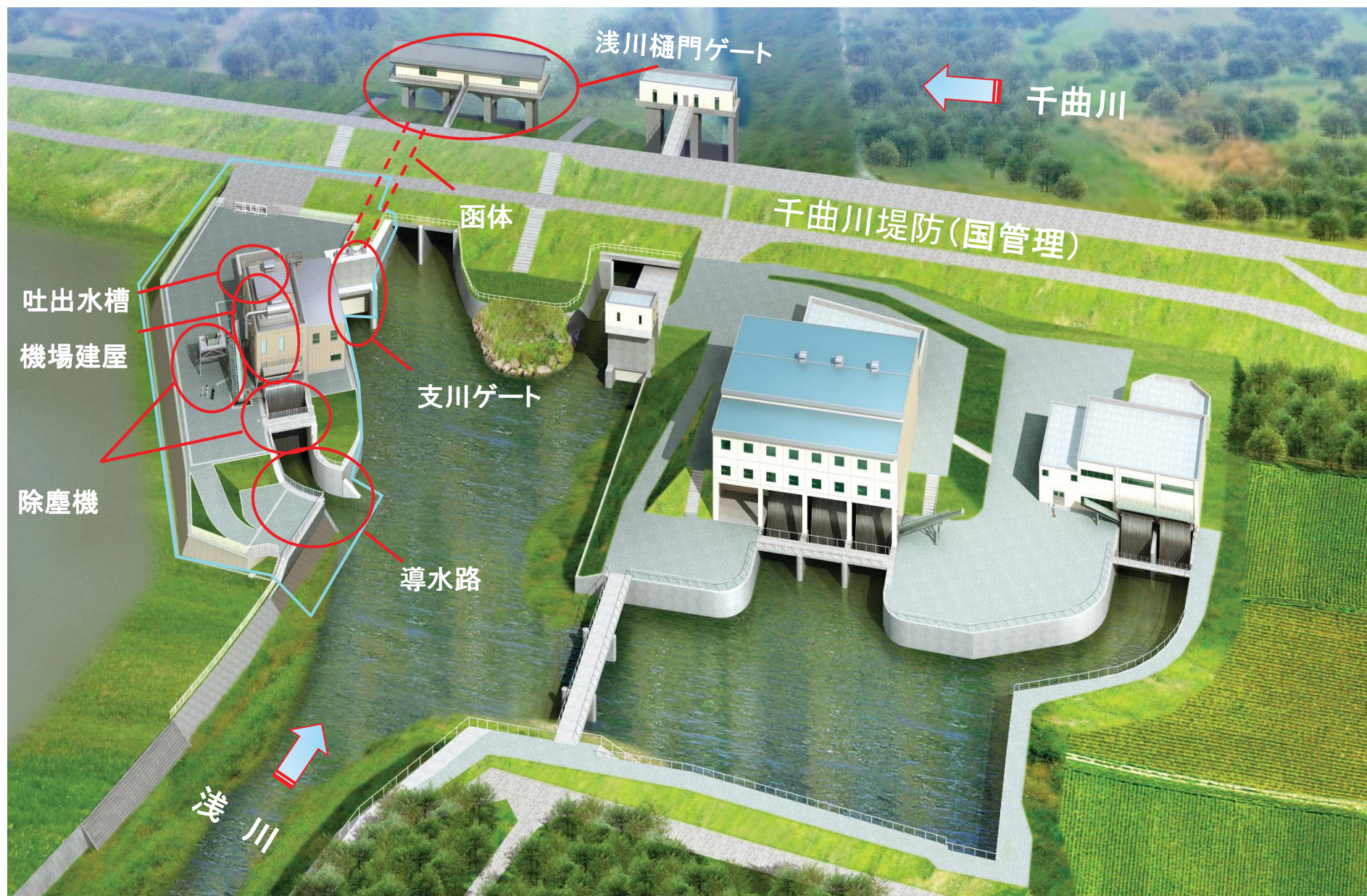
浅川総合内水対策計画 (H25年5月31日)



浅川第三排水機場のイメージ（工事範囲・管理区分）

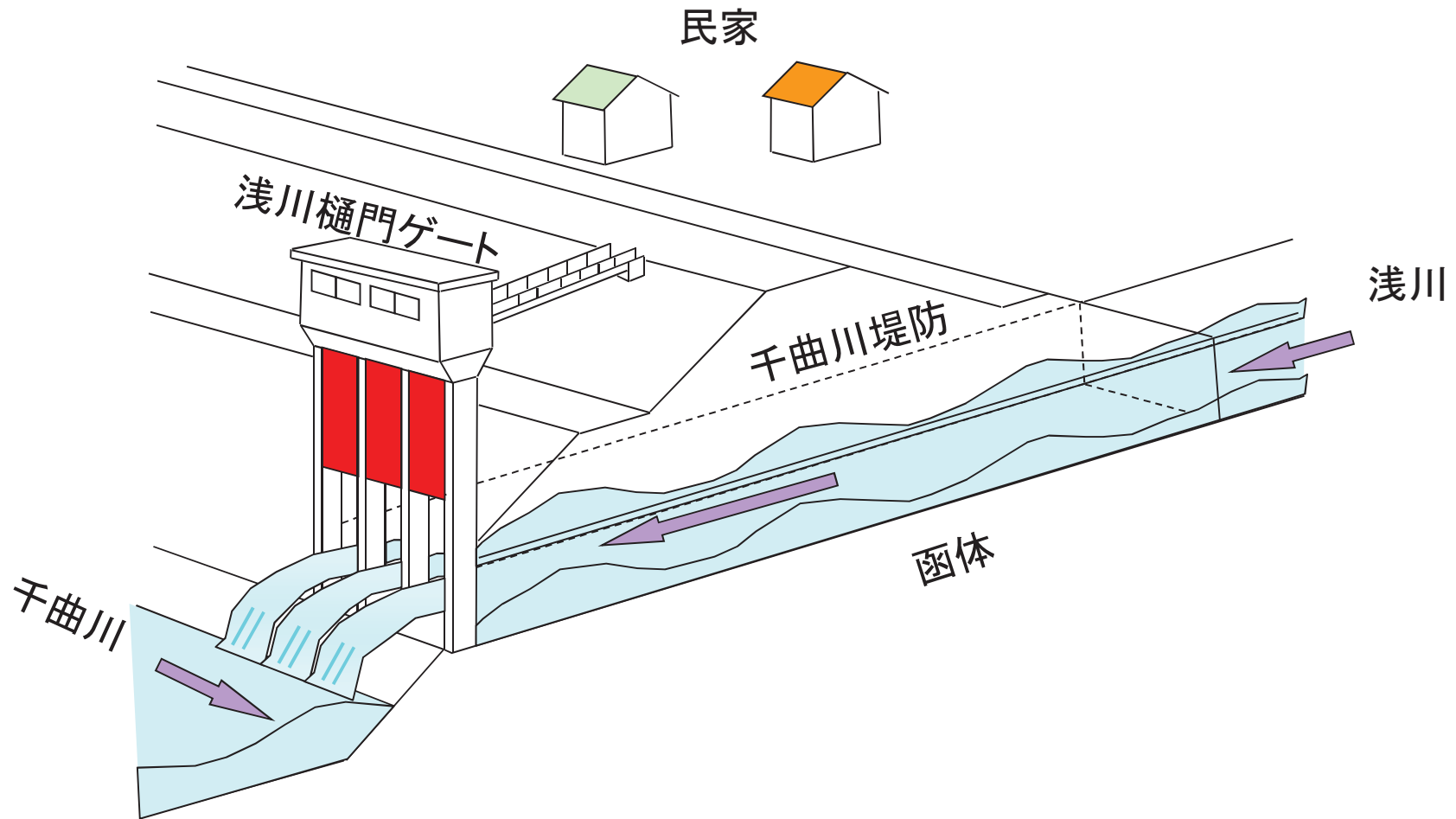


浅川第三排水機場のイメージ(設備名称)



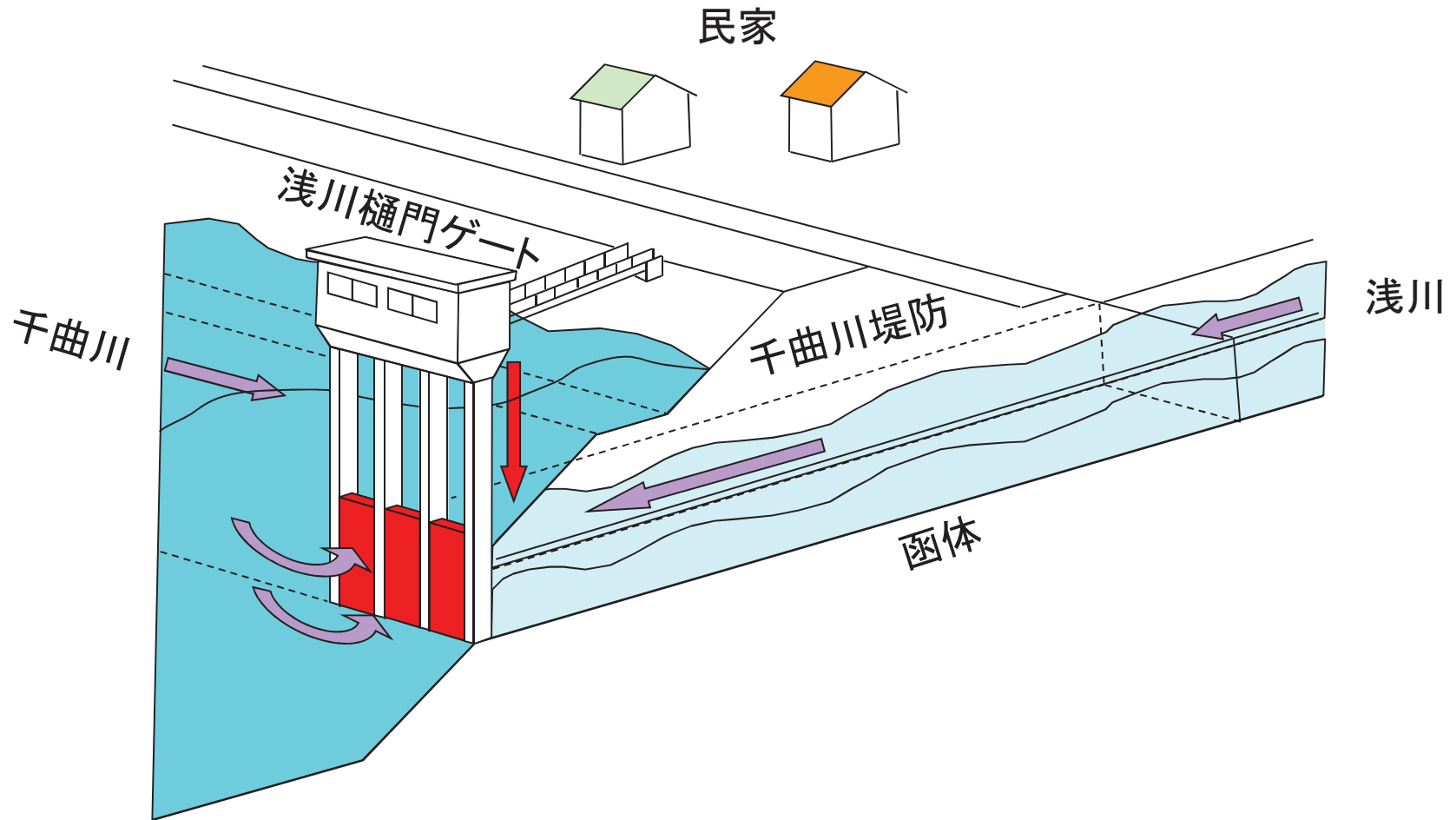
樋門・排水機場の機能

【1. 通常時】 浅川の水は、千曲堤防の堤体内に作られた函体をとおり、浅川樋門ゲートから千曲川に排水されます。



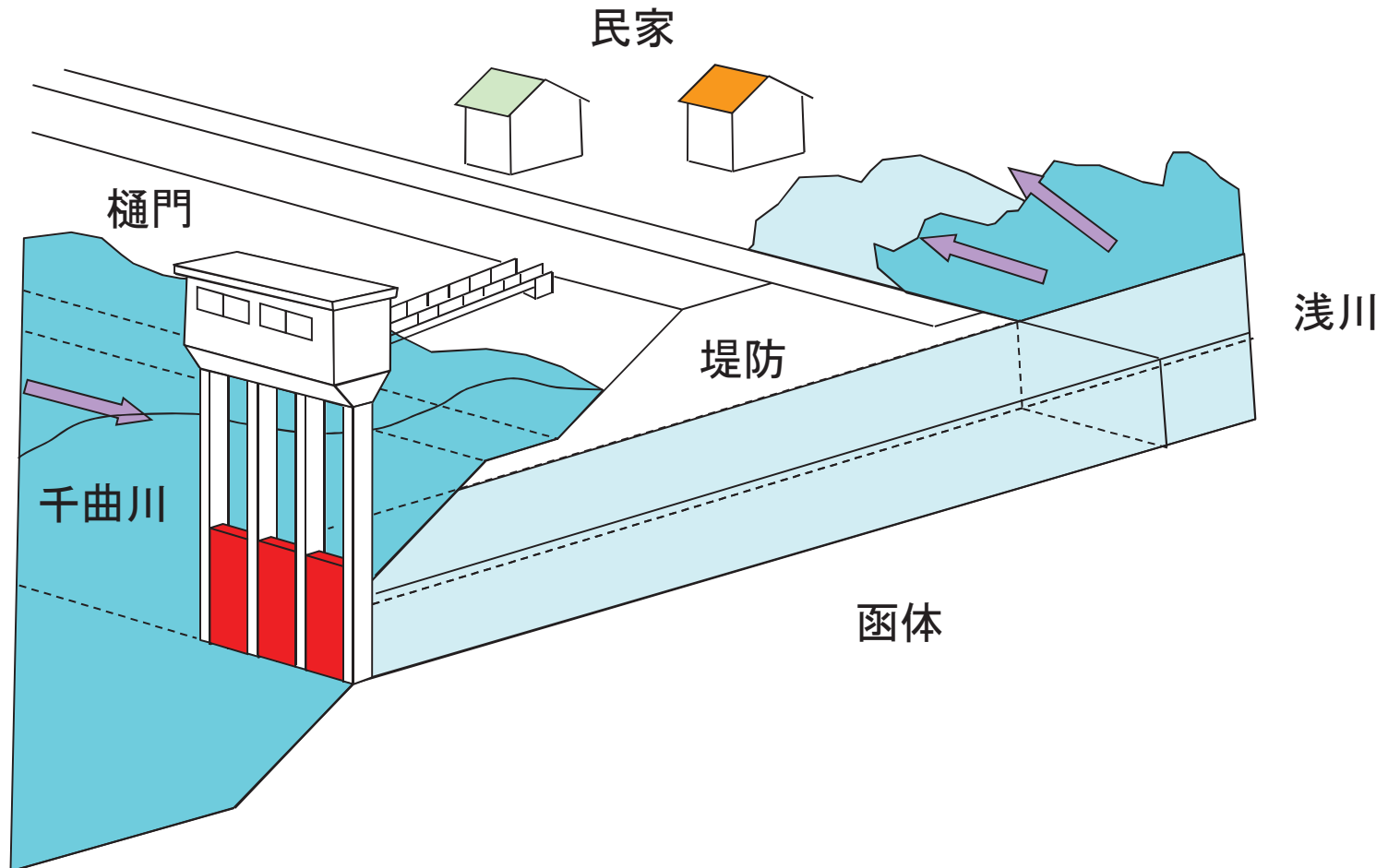
樋門・排水機場の機能

【2. 洪水時 その1】 洪水により千曲川の水かさが増えると、浅川への逆流を防ぐため浅川樋門ゲートを閉じます。



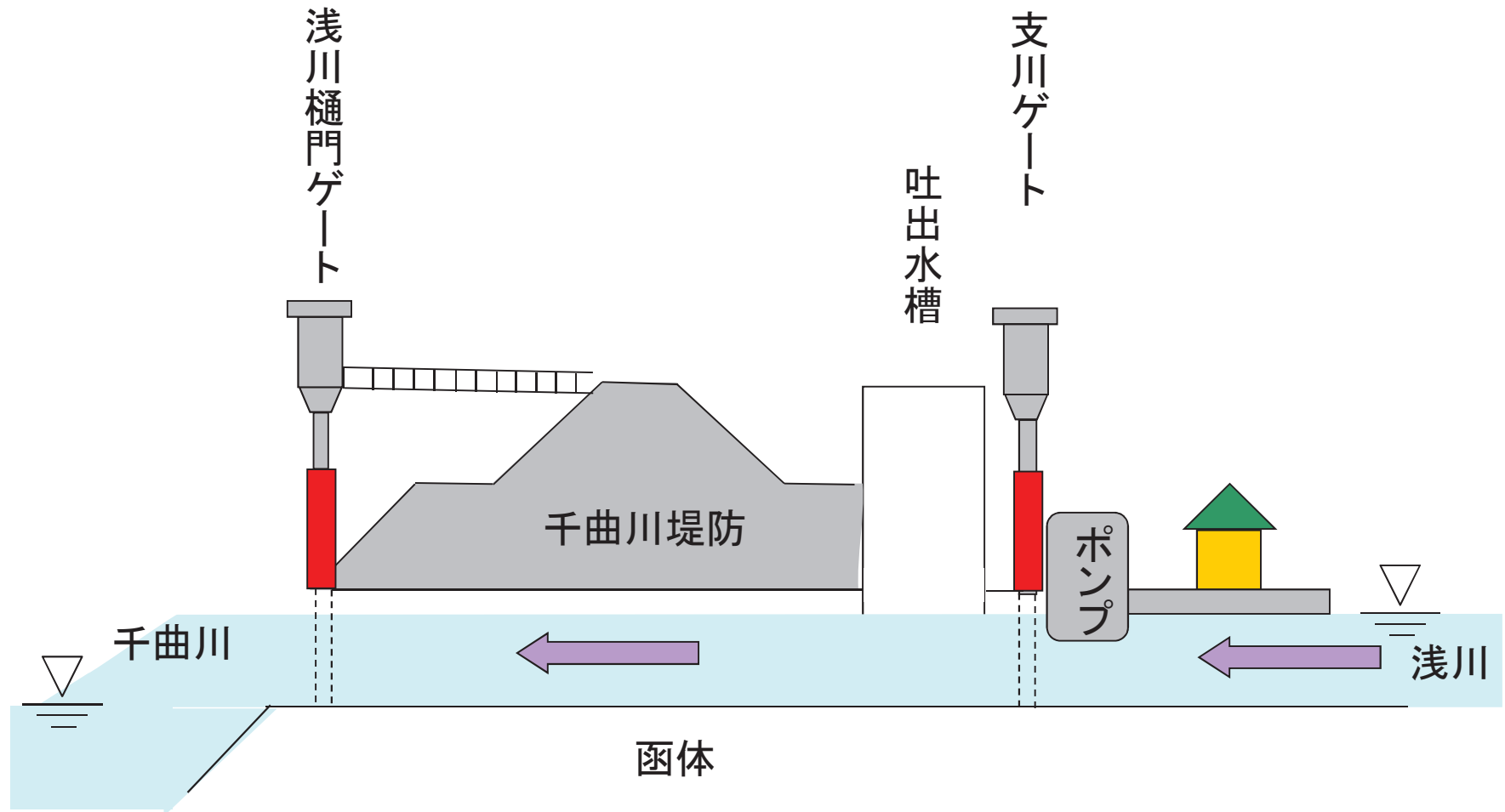
樋門・排水機場の機能

【3. 洪水時 その2】 しかし、このままでは出口を塞がれた浅川の水かさが上昇し、人家や田畑に浸水被害を及ぼします。ここで浅川の水を千曲川へくみ出すための排水機場が必要になります。



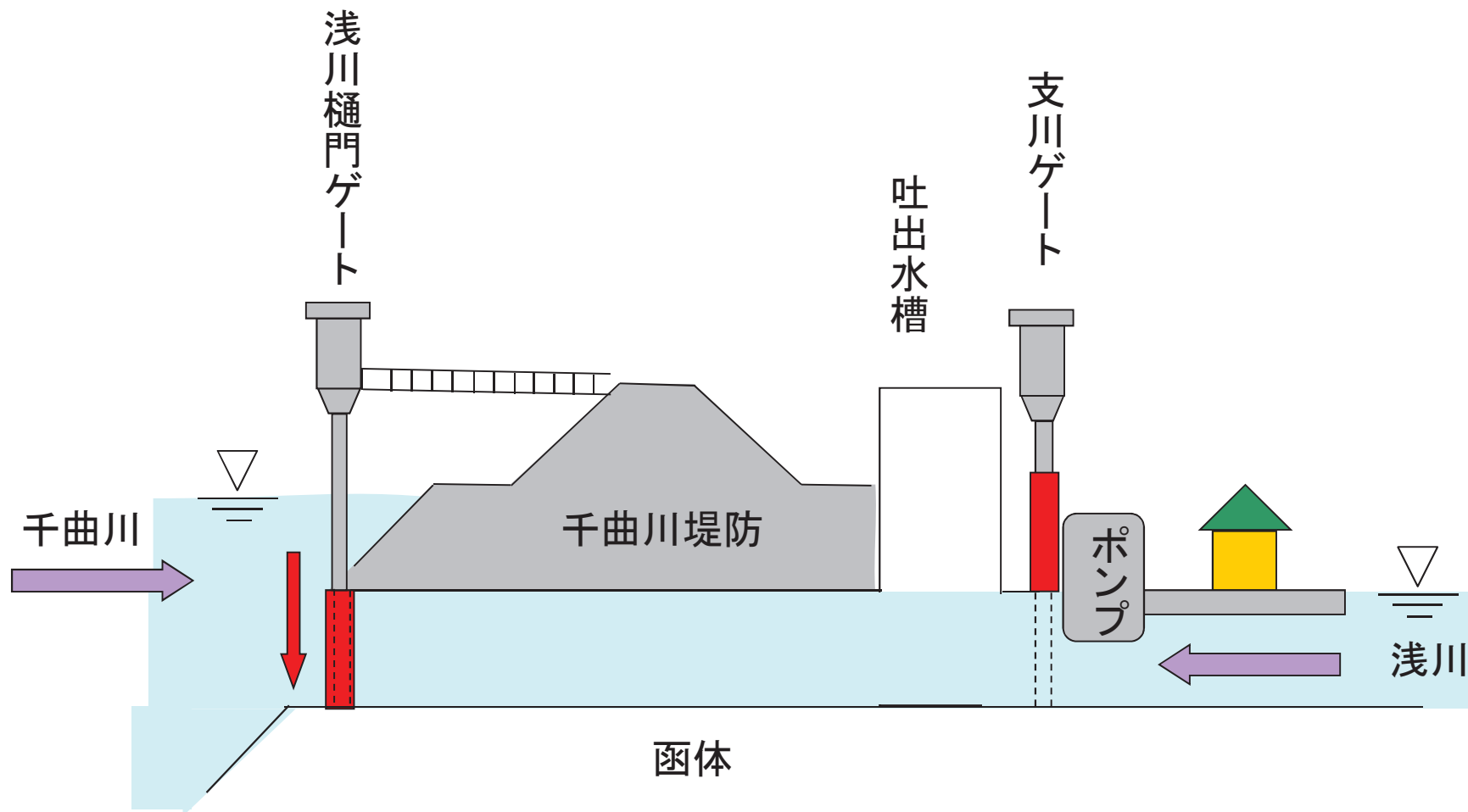
樋門・排水機場の機能（ポンプとゲート）

【1. 通常時】 排水方法の説明では、ポンプとゲートの関係が分かりづらいため、その機能を模式化しその機能の説明を行います。通常浅川の水は、千曲堤防内の函体をとおり、浅川樋門ゲートから千曲川に排水されます。



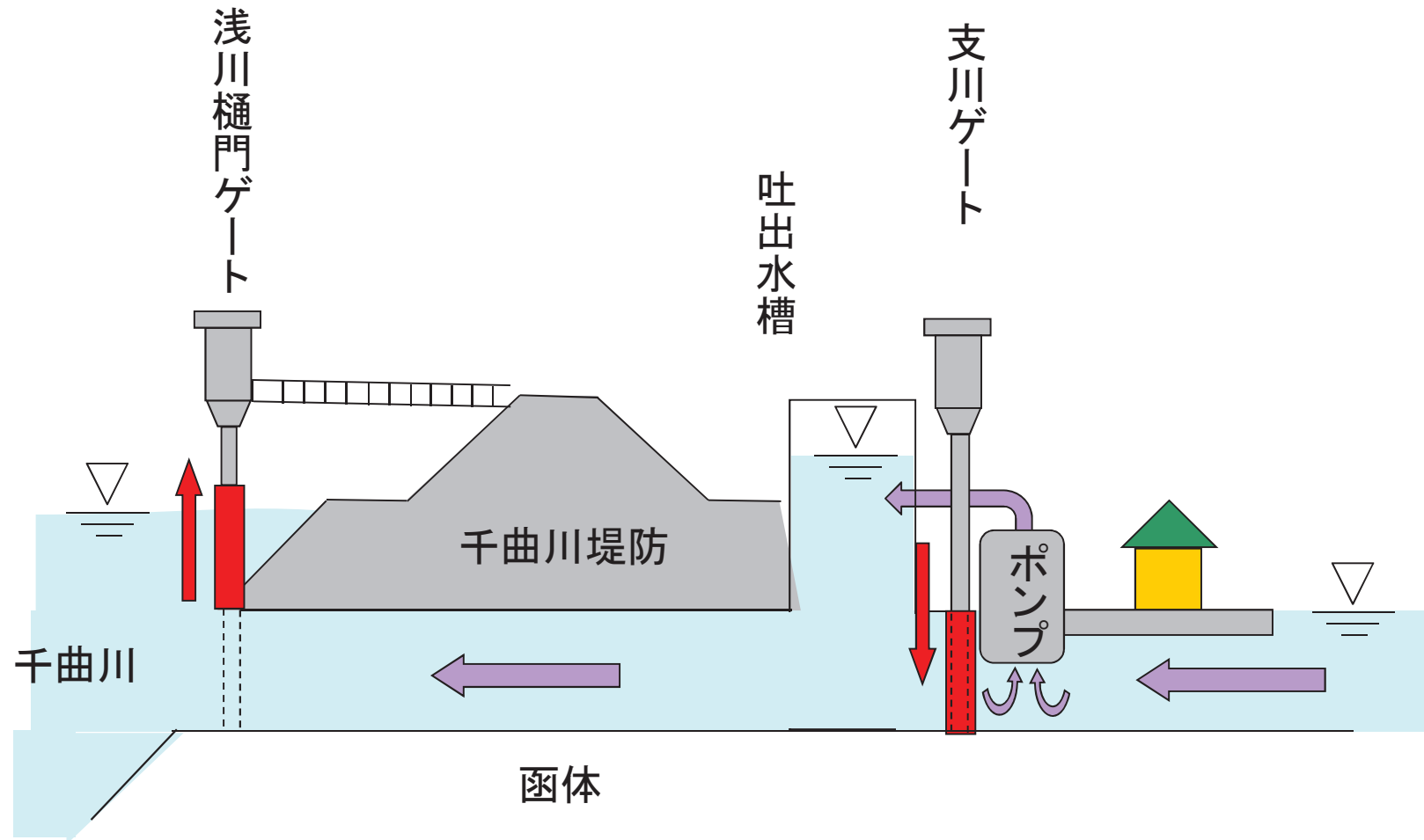
樋門・排水機場の機能（ポンプとゲート）

【2. 洪水時 その1】 洪水により千曲川の水かさが増えると、浅川への逆流を防ぐため浅川樋門ゲートを閉じます。



樋門・排水機場の機能 (ポンプとゲート)

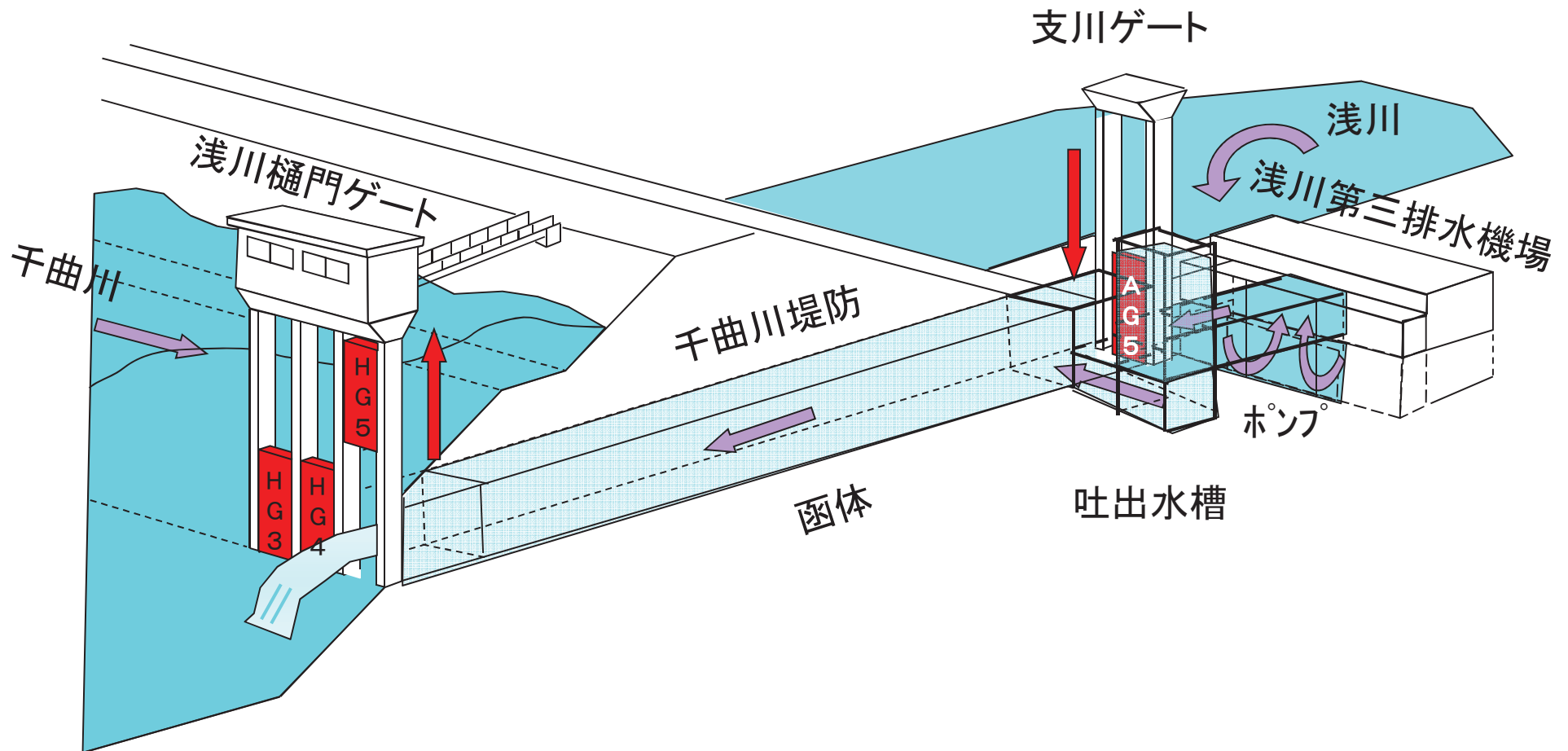
【3. 洪水時 その2】浅川水位が上昇すると、浅川樋門ゲートを開き、支川ゲートを閉じた上で、浅川の水が溢れないように、排水機場のポンプで汲み上げ、千曲川に排水します。



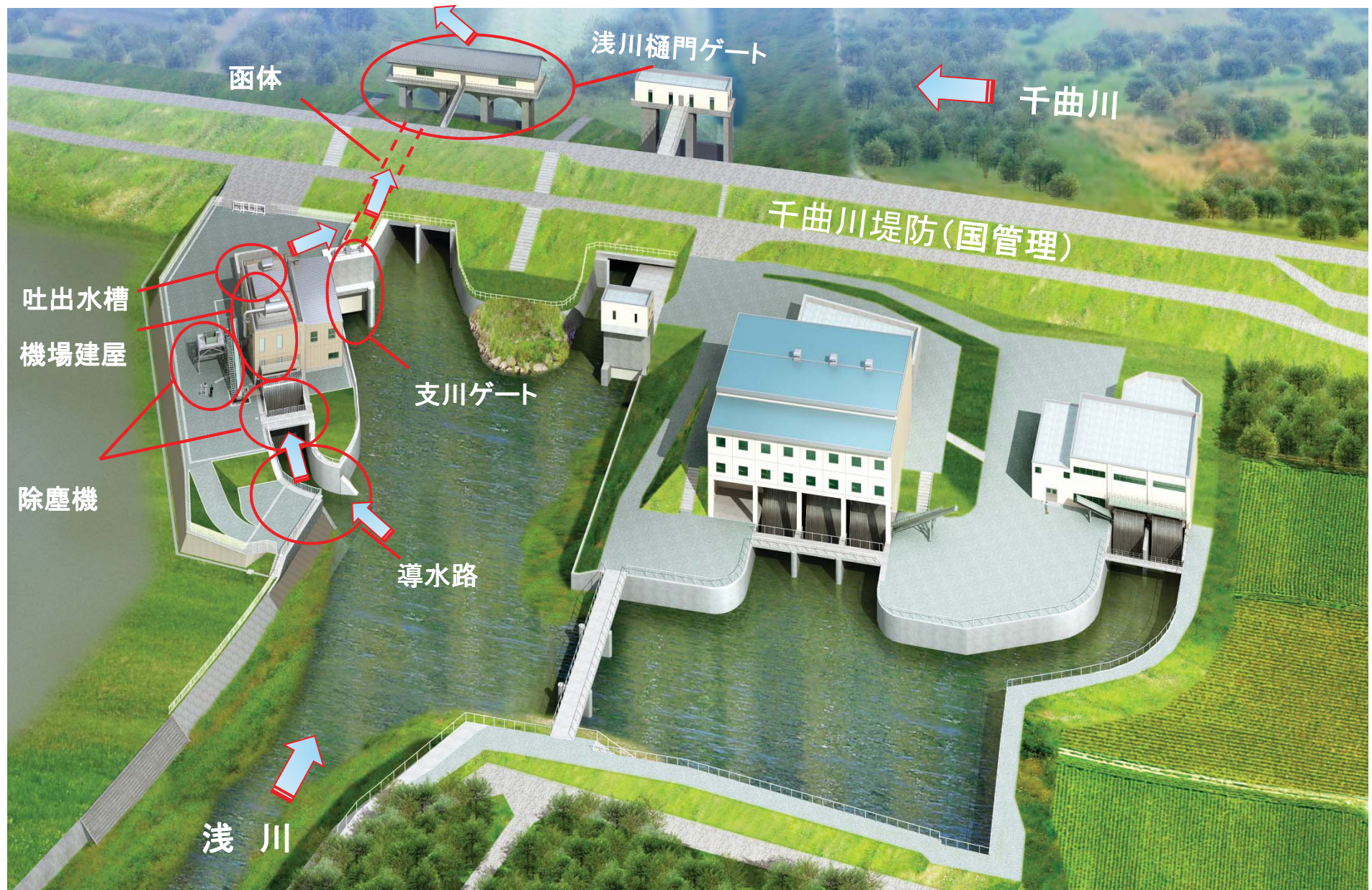
樋門・排水機場の機能 (ポンプとゲート)

【4. 洪水時 その3】 先ほどの模式図をまとめるとこのようになります。

- 浅川樋門ゲートのうち第3ゲートと第4ゲートは閉鎖
- 浅川支川ゲートを閉鎖
- ポンプ稼働 ⇒ 浅川の水 → ポンプ → 吐出水槽・函体 → 浅川樋門第5ゲート → 千曲川

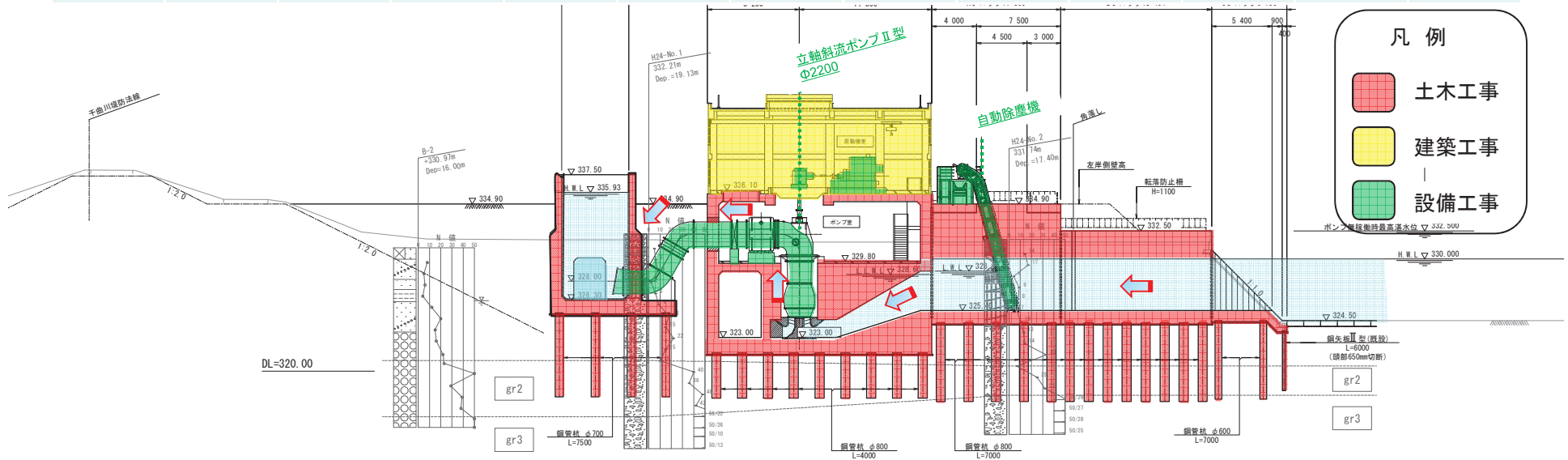


浅川第三排水機場 (排水イメージ)



浅川第三排水機場 全体工程(予定)

工事	平成26年度	平成27年度	平成28年度
物件移転	[Purple bar spanning all three years]		
土木		[Red bar spanning 27 and 28 years]	
建築			[Yellow bar in 28th year]
機械設備		[Green bar spanning 27 and 28 years]	
電気通信			[Grey bar in 28th year]



浅川第三排水機場 工事用車両通行ルート

凡例

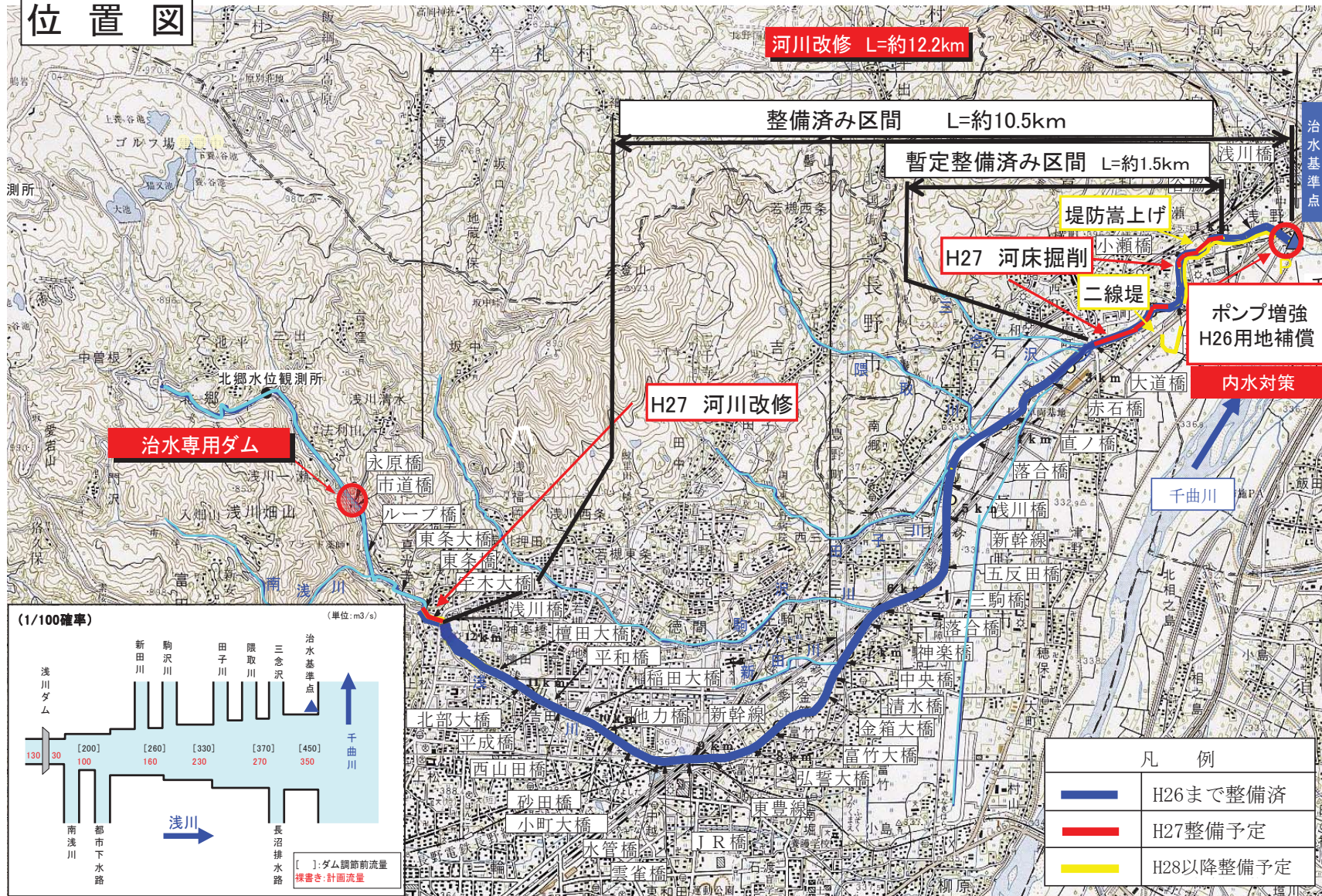
- ➡ (赤) : 行き (土取場→現場)
- ➡ (青) : 帰り (現場→土取場)
- (緑) : 誘導員配置



- 工事用車両は、地元車両優先で運行します。
- 長野方面からの車両は、小布施橋堤防道路経由とし、R18号現場出入口部での渋滞を抑制します。
- 長野方面への車両は、鳥居川に架かる『鳥居大橋』横でR18号に入り、小布施橋までの堤防道路を大型ダンプ等が往復しないようにします。
- 工事用車両の運行台数が多い日は、小布施橋左詰め、R18号出入口部に交通誘導員を配置します。

2. 浅川治水対策 (ダム・河川改修・内水対策)の現況報告

位置図



浅川ダム建設事業

全体

位置 : 長野市大字浅川
目的 : 洪水調節
型式 : 重力式コンクリートダム
高さ : 53m

平成27年度

◆治水ダム建設事業

事業内容 : 本体工、
地すべり対策工等

H27末進捗率 : 85% (予定)



ダム建設地点を下流側より
(撮影 H27.1.2)

浅川河川改修事業

全体

位置 : 千曲川合流点～長野市浅川地籍

目的 : 流下能力の確保

工種 : 引堤、護岸工、河床掘削、橋梁架替等

延長 : 12.2 km

平成27年度

◆河川改修事業

事業内容 : 橋梁架替 (宇木大橋)
護岸工、河床掘削工等

H27末進捗率 : 99% (予定)

■河床掘削 (千曲川合流点)

平成26年12月2日



平成26年12月22日



平成27年3月27日



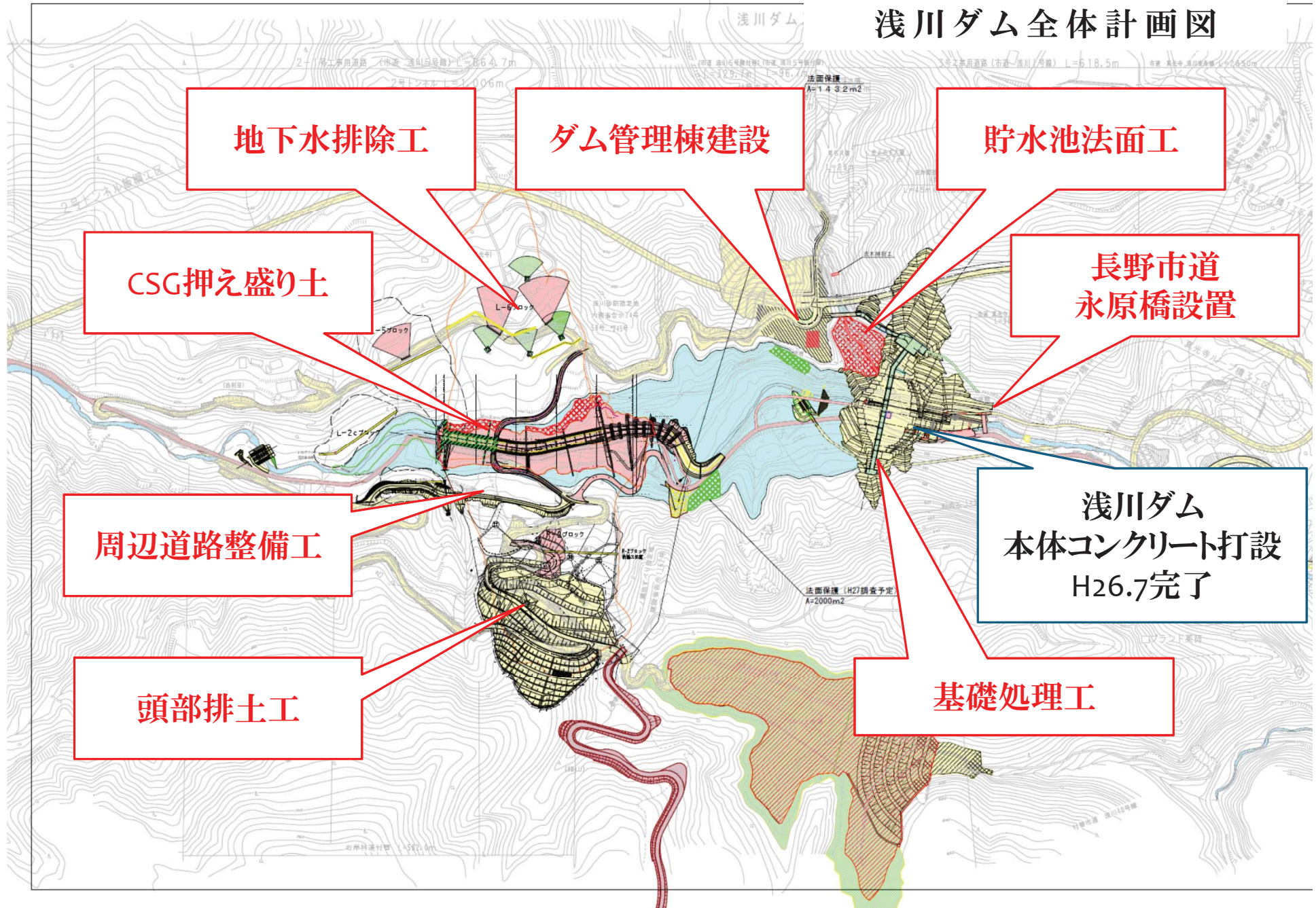
平成27年度 河川改修予定箇所
(長野市浅川東条地区)



浅川ダムの経過

- * 平成22年3月12日 ダム本体工事を契約
- * (大林・守谷・川中島共同企業体)
- * 平成23年9月13日 ダム堤体コンクリート打設開始
- * 平成24年9月19日 浅川ダム定礎式
- * 平成26年3月14日 浅川ダム本体工事変更契約
- * (物価変動、岩盤清掃方法、基礎処理、CSG材料、等)
- * 平成26年7月2日 ダム堤体コンクリート最終打設

浅川ダム全体計画図

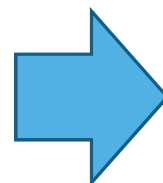


浅川ダム右岸法面崩落について

崩落の状況(写真)

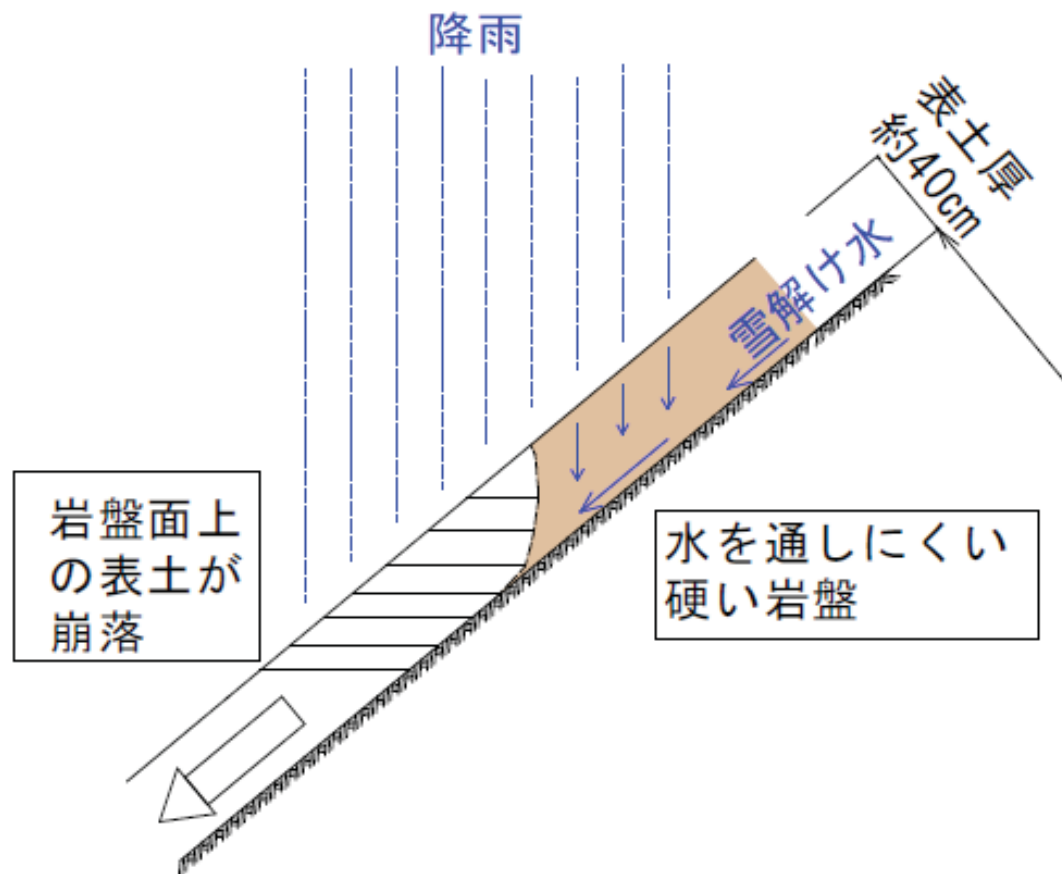
3月19日

3月18日



崩落の原因

崩落のイメージ



・春先に見られる急な気温上昇に伴う雪解けと降雨によるものであり、谷状の地形に集まった水が硬い岩盤上の表土をゆるめたことから、表土の土砂が流出したものです。

・崩落は浅い(約40cm)ものであること、崩落地に現れた岩盤はきわめて強固であることが確認されました。

・なお、周辺の法面や法枠工に今回の崩落の影響は認められません。

今後の予定

- ・現在、専門家の現地調査が行われ、対策工法を検討しています。
- ・出来るだけ早い時期に対策工事に着手します。
- ・ダム本体の工程に影響はありません。

ご静聴ありがとうございました。



浅川

しあわせ  信州